

平成20年度土木学会全国大会  
「岩手・宮城内陸地震 技術調査」のご案内

1. 主催： 土木学会東北支部

2. 概要： 平成20年6月14日に発生した、岩手県南部を震源とする「岩手・宮城内陸地震」は最大震度6強を記録し、岩手・宮城県境の山間部を中心に多くの尊い命を奪い、各所で大規模な地滑りや土石流が発生しました。そこで、防災の観点から特に甚大な被害を受けた一関市および栗原市の被災箇所の技術調査を実施します。

3. 実施日

平成20年 9月10日（水）【コース1 12時30分～18時30分・コース2 12時30分～18時】

9月12日（金）【コース1 12時30分～18時30分・コース2 12時30分～18時】

（お断り）両コースとも、降雨や現地の状況により中止する場合があります。

3. 技術調査箇所：

コース1：岩手県一関市（<sup>まつるべ</sup>祭時大橋、<sup>いちののぼら</sup>市野々原地区河道閉塞、<sup>やびつ</sup>矢櫃ダム）

震源地直近の国道342号祭時大橋の落橋、磐井川の市野々原地区河道閉塞、矢櫃ダム付近の大規模斜面崩落の被災状況を調査。

コース2：宮城県栗原市（<sup>あらとざわ</sup>荒砥沢ダム）

北上川水系二迫川上流の荒砥沢ダム周囲の大規模な地滑りおよび貯水池への土砂流入状況を調査。

4. コース概要： バス利用となります

コース1：岩手県一関市（<sup>まつるべ</sup>祭時大橋、<sup>いちののぼら</sup>市野々原地区河道閉塞、<sup>やびつ</sup>矢櫃ダム）

大会会場－（東北道経由）－矢櫃ダム－市野々原地区河道閉塞－祭時大橋－（東北道経由）－仙台駅

コース2：宮城県栗原市（<sup>あらとざわ</sup>荒砥沢ダム）

大会会場－（東北道経由）－荒砥沢ダム－（東北道経由）－仙台駅

5. 定員： コース1 [10日 100名、12日 100名]

コース2 [10日 100名、12日 100名]

6. 参加費：

・参加費は4,000円です。費用はバス借上げ費、高速料金、保険料、災害報告写真集、長靴レンタル費となります。

・参加費は技術調査当日の10時30分までに、必要経費を大会会場(東北大学川内北キャンパス)の総合受付でお支払い下さい。引き換えに「技術調査参加券」をお渡ししますので、バス乗車の際に係に提示して下さい。

7. 申込み方法： 葉書、FAXまたはメールで「内陸地震技術調査申込み」と明記し、（１）氏名  
（２）住所（３）学校又は勤務先等（４）参加希望日・コース番号（５）靴のサイズ  
（６）会員番号をご連絡下さい。 定員になり次第締め切ります。

8. 経費払い込み受付： 技術調査当日の10時30分を締切とします。

9. 服装等：ヘルメットと長靴は用意しますが、調査に適した服装でご参加下さい。  
また、現地は危険箇所がありますので 現地説明者の指示に従い調査していただきます。

10. 申込先： 土木学会東北支部

〒：980 - 0802 仙台市青葉区二日町17 - 21（北四ビル）

兼FAX：022 - 222 - 8509

E-mail：jsce-th@luck.ocn.ne.jp